



不知火っ子だより

第 14 号

平成 29 年 11 月 21 日 文責 校長 吉永博美

第2回「小中連携の日」11/14 実施



＜6年生の算数の授業＞

不知火小と松合小の6年生は不知火中学校で合同学習
1～5年生は、松合小学校と本校で交流学习を行いました。
6年生は、中学校の先生と一緒に、算数と体育の学習を行いました。小学校に戻ってきた6年生は、「算数じゃなくて数学の勉強しました!」、「ハードル上手ってほめられました。」とひとみをキラキラさせていました。中学校入学への期待が高まったことでしょう。

その他の学年も松合小の子どもたちと一緒に、互いに刺激を受けながら、様々な学習に取り組んでいました。回を重ねるごとに互いを知ることで、自然な交流となってきました。

不知火町「すくすく委員会」子育て講演会

演題「親子のコミュニケーション」

講師 人材育成サポート津川育子さん

11/4(土) 開催
不知火公民館

お子さんとなかなかコミュニケーションがとれず子どもの気持ちが分からない、こちらの気持ちが伝わらない、という悩みをお持ちの方も多いと思います。いわゆる反抗期になるとなおさら感じるのではないのでしょうか。そんな時の「親子のコミュニケーション」について、とても参考になるお話がありました。参加者は、幼保小中の保護者、職員、地域の方等約80人でした。もっとたくさんの方に聞いていただきたい内容でした。内容のほんの一部を紹介いたします。家庭での親子のコミュニケーションについて振り返っていただく機会になればと思います。

★子どもにサインが出ているとき

(悩んでいる、いつもと違う、問題を抱えている)

→ 親は能動的に聞く… 繰り返す 言い換える
気持ちを汲む

★親が、子どもの行動に怒っているとき

(行動を変えてほしい、その行動でいやな気分になる)

→ 親は自分の気持ちを子どもを非難することなく伝える。
受容できない行動について簡単に事実だけをいう。
価値判断を加えない。いつもとか決してとかは使わない。
自分の正直な感情を伝えることが大事。
(私は、悲しい、心配、イライラする……など)

★自分の生きてきた証、価値観、大切にしている生き方など
については、お互い問題のないとき、ところで伝え合う。

コミュニケーションを はばむ12の言葉かけ

- | | |
|------|---------|
| 1 命令 | 7 同意 |
| 2 脅迫 | 8 馬鹿にする |
| 3 説教 | 9 分析 |
| 4 提案 | 10 同情 |
| 5 講義 | 11 尋問 |
| 6 非難 | 12 ごまかす |

※学校ホームページには子どもたちの様子等を随時掲載しています。どうぞご覧ください。

